



# 愛宕坂だより



夏号 No.21 2010. 7. 10

発行：福井市橘曙覧記念文学館・福井市愛宕坂茶道美術館

## 企画展「夏の文様」

7月10日(土)～9月21日(火)

会期中無休

<福井市愛宕坂茶道美術館 企画展示室>

日本には古来より伝わる数多くの文様があります。中国やシルクロードから伝わった文様は茶の湯の世界でも陶磁器や漆器、書画の表装や服紗などに使われ、その意匠によって、季節感を味わうことができます。今回は魚や貝、蟹など、夏の情趣を感じさせる文様の描かれた茶道具や書画を展示いたします。蒸し暑い毎日が続きますが、展示品から爽やかな涼感を感じていただければ幸いです。

<展示品>

- ・時代海松貝蒔絵手桶型茶器
- ・古染付海老型向付
- ・竹倉屋紹左作茶杓「蟹はさみ」 ほか全18点

## 館蔵品展「開館10年のあゆみ」

<福井市橘曙覧記念文学館 第1展示室>

橘曙覧記念文学館は2000年4月に開館して以来、今年で10周年を迎えました。今回は3回に分けて館蔵資料の展示を行います。

### ①「新収蔵資料を中心に」

開催中～7月19日(月)

近年新たに収集した資料を中心に展示を行います。合わせて過去10年の間に開催した特別展を振り返ります。

### ②「曙覧から子孫へ」

7月21日(水)～9月2日(木)

橘曙覧の子孫のもとに残された資料を紹介します。

### ③「あけみの本、短歌の本」

9月4日(土)～10月3日(日)

曙覧没後からこれまでに出版された本、当館が所蔵する短歌関連の本などを紹介します。

休館日：7月20日(火)、9月3日(金)

## 愛宕坂をゆかたで歩こう



7月30日(金)、31日(土)、8月1日(日)

今年もフェニックス祭りにあわせ、イベントを開催します。期間中、美術館または文学館を和装(浴衣や甚平など)で来館された方は、入館料(各100円)が無料になります(中学生以下、70歳以上の方は通常通り入館無料)。

### 🌸夜間開館 みんなで花火を見よう!

福井フェニックス花火が行われる7月30日(金)は橘曙覧記念文学館を午後9時まで夜間開館します。庭園にイスやシート、冷たい飲み物をご用意します。ゆったりと花火をご鑑賞ください。

### 🌸クリアホルダーをプレゼント

期間中入館された方全員に、オリジナルクリアホルダーをプレゼントします。

## 「越前和紙でミニ手帖づくり」

大判の越前和紙から一冊の手帖を作ります。和紙の質感を楽しみながら、あなただけの手帖を作成してみませんか?

と き：9月11日(土) 午前の部 10時～12時  
午後の部 14時～16時

と ころ：愛宕坂茶道美術館 4階

講 師：東野早奈絵氏(和紙作家「紙日和」)

参加費：1,500円(材料代)

定 員：各回20人

対 象：高校生以上

持ち物：はさみ、カッター、定規、筆記用具

申込み：往復はがきまたはEメールに①講座名、②住所③氏名④電話番号⑤希望の時間帯(午前または午後)を明記の上、橘曙覧記念文学館までお送りください。〆切は9月2日(必着)です。

## いろいろトピックス

### ◆第15回(2009年度)『平成独楽吟』作品集配布中です。


平成21年度の『平成独楽吟作品集』ができました。無料で配布していますので、ご希望の方は文学館受付までお申し出下さい。

### ◆「緑のカーテン」を設置しました。

橘曙覧記念文学館受付後ろの軒下に「緑のカーテン」を設置しました。アサガオとフウセンカズラを栽培しています。自然のカーテンで少しでも夏の強い日差しをしのぎ、館内を涼しく保てられたらと考えています。



### ◆◆「愛宕坂だより」をホームページに掲載しました。

2005年7月の創刊以来、館内で配布してきた「愛宕坂だより」ですが、両館ホームページ上でもご覧いただけるようになりました。トップページ下部にある  をクリックするとファイルが開き、表と裏の両面を読めるようになっていました。

### ◆編集者・松岡正剛さんが来館されました。

日本文化研究の第一人者であり、先日、テレビ番組「情熱大陸」に出演された松岡正剛さんが来館されました。福井市内で白川文字学のご講演のあと、ゆっくり館内を見学されました。館では曙覧の書に注目しておられました。

### ◆◆7月から第3日曜日が無料になります。

家庭の日(毎月第3日曜日)にあわせ、福井市内の博物館・美術館施設の入館料が無料となります。また、文化の日(11月3日)、ふるさとの日(2月7日)も無料です。ぜひ、ご利用ください。

## 愛宕坂茶道友の会 茶会のお知らせ

と き：9月12日(日)

ところ：愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

参加費：一般500円 会員300円

※詳細が決まり次第、茶道美術館にてご案内いたします。

愛宕坂だより 夏号 No.21 (2010.7.10)

### ◆福井市愛宕坂茶道美術館

〒918-8007 福井市足羽1-8-5

TEL/0776-33-3933 e-mail:sado-a@mx4.fctv.ne.jp

### ◆福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007 福井市足羽1-6-34

TEL/0776-35-1110 e-mail:akemi-t@mx2.fctv.ne.jp

## 曙覧よもやま話「朝顔」



■夏になると、街のあちこちで朝顔の花を見かけるようになります。みなさんの家でも朝顔を育てている、あるいは過去に育てたことがあるのではないのでしょうか。■曙覧の家にも、朝顔の花が咲いていました。家の門口近くに蒔いた種がつのを伸ばし、日ごとに花数が増えていたようです。では、どんな朝顔が咲いていたのでしょうか。■昔だから、色柄が少ないのではと思いきや、園芸の盛んだった江戸時代。今の私たちが考える以上にさまざまな色柄の花が咲いていました。曙覧の家には「紺瑠璃」の花が多く、その花の中に「くくりぞめ」(絞り模様のような花)、「むらご」(ところどころに濃淡がある花)といった花が交ざっていたようです。■曙覧は眠たい朝に、朝顔を見ると、目を覚まされる気持ちでしたそうです。なお、曙覧の見た朝顔の様子は、「沽哉集」(こさいしゅう)という文集(『橘曙覧全集』収録)に収められています。

### — 休館日のご案内 —

福井市愛宕坂茶道美術館

9月22日(水)、23日(木)

(展示替えのため)

福井市橘曙覧記念文学館

7月20日(火)、9月3日(金)

(展示替えのため)

### <編集後記>

昨年、朝顔の種がたくさん採れたので、今年は「緑のカーテン」に挑戦することにしました。初めての試みなので、職員一同あれこれ考えながら設置しました。植物の生長は目を見張るものがあり、気がつけばツルがぐんぐん伸びてきています。

「たのしみは朝起きいでて昨日まで無かりし花の咲ける見るとき」橘曙覧のように朝、花が咲いているのを見つける日が今から待ち遠しいです。(U)